

令和 7 年度学校評価報告書

令和 8 年 3 月 2 4 日

北海道教育委員会教育長 様

北海道苫小牧西高等学校長 印

次のとおり令和 7 年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

生徒一人ひとりの資質能力を磨くとともに、「自立と共生」の精神を育成する (1)基礎学力の確実な定着と自発的に学習に取り組む態度の育成 (2)豊かな人間性と寛容性、公正な判断力や社会性の育成 (3)健康・体力の増進と自他の生命を尊重する態度の育成 (4)主体的に自分の生き方を考え、進路を切り拓く力の育成 (5)広い視野と教養を身に付け、社会の発展に貢献する態度の育成
--

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	① I C Tの積極的な活用を通じて、個別最適な学びと協働的学びを実現できるよう授業改善に努めることはできた。 ②基礎学力向上のため、学習習慣の定着を図る取り組みはできたが、引き続き多様な生徒一人ひとりの学習モチベーションを維持・向上させる具体的な指導に努める。	様々な取り組みの成果として、先を考えながら自分で努力している事が進路などに現れていると感じます。ただそれがまだ一部の生徒だけのようで全体としては依然として家庭学習など習慣化しての学習になっていないようでこれからの課題かと考えます。
改善方策	①ICT活用は進んでいるが、個別最適な学びと協働的学びの実践についてはさらに改善につとめる。教科内外での授業実践研修を通じて各教科の取り組みを理解し相互理解を促し教科横断的な学習活動実践につなげていく。 ② I C Tの効果的効率的な活用について引き続き実践的な研修会を開催する。 ③教育課程が完成し、指導と観点別評価の一体化やあり方を検証する。	
生徒指導	生徒の規範意識を高め、規律正しい生活習慣を身に付けさせる指導を行っている学校いじめ基本方針に則り、組織として自他の生命尊重の心を育み、いじめのない学校を目指す指導体制構築に努める。	基本的な生活指導は学校指導だけでは出来ないと思っていますが、家庭での指導も期待できないであろう現状で子ども達の年齢相応な成長が劣っている？と思っています。 社会人となる前の最後の教育の場として、なんとか少しでも成長させて欲しい。
改善方策	いじめ予防と事後対応を学校評価に明に位置づける。年度初めにいじめ防止及びいじめ発生後の対応を学校Webページに掲載公表し、年生徒及び保護者に周知することで、防止対策、事後対応を明確化・透明化し、生徒及び保護者の安心感につなげる。	
進路指導	積極的な情報提供、就職・進学各指導の充実を通じ、上級学校・企業等、外部機関との連携を強化し、生徒の進路意識の高揚を図ることができた。	様々な機会を作ったり利用されていることで、今後も生徒自身が自分の将来を考えた学校生活を充実させて欲しい。
改善方策	①各学年で実施している進路講演会を、生徒の意欲向上につながるような内容について工夫する。②面接指導について試験等の実態、情報収集とその共有に務め、統一した指導をおこなう。③進路希望調査等のデータを活用し、進路希望に即した各種模試、進学講習を計画する。	
健康・安全指導	① 1 日防災学校をはじめ、強化科目の学習を通して生徒が主体的に防災活動に臨む態	いろいろな問題を抱えた生徒の対応、感染症対策、気候変動による防災対策と今

	度を育成することができた。 ②学校不適応傾向を示す生徒の早期発見、早期対応についてや特別な支援を必要とする生徒への組織的対応の強化を図る。	まで以上に問題が多岐にわたる中で適切な改善に取り組んでいるかと感じます。
改善方策	①不安や悩みを抱える生徒への対応、生徒の状況を早めに全教員で情報共有する。学級担任任せにしないよう、サポート委員会と学年の連携の再構築を図る。 ②友人関係から問題が生じることを防止するため各種調査などを活用し、外部機関との連携や学校行事を通じて生徒が自己肯定感を高められる機会を確保する。 ③不安や悩みを抱える生徒への対応や気になる生徒の状況を教職員間で定期的に情報共有できるよう委員会を開催する。 ④サポート委員会の構成員と役割をたえず見直し改善を図る。	
組織運営	①職員のワークライフバランスを考慮した勤務時間管理や平準化、健康安全管理を行い、組織力を高める。 ②不祥事防止のために、コンプライアンス委員会を中心に組織的な取組を推進する。	本校の総合的な探究の時間の取組や防災教育、さらに部活動等生徒の活躍が数多く新聞報道等で紹介されるなど、情報発信が増えたことは評価に値する。
改善方策	①進路多様校として、進路希望の実現を可能とする生徒への働きかけや効果的な手立てを模索し示していく。 ②保護者や地域へ学校ウェブページ掲載やメール配信で積極的に情報発信に努める。	
公表方法	①学校ホームページへの掲載 ②PTA総会や役員会、学校評議員会での説明	

3 添付資料

- (1) 令和7年度自己評価書
- (2) 令和7年度学校関係者評価書
- (3) 令和7年度学校評価集約結果